

事業所名 グーチョキパー新琴似

支援プログラム

作成日 2025年3月18日

法人（事業所）理念	お子さんを中心として、保護者の皆様・関係機関・事業所スタッフが連携し、お子さんのもっている自ら成長していく力を支えていきます。そして、お子さん・保護者の皆様と共に事業所スタッフも成長していきます。		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方が安心して過ごせるように、スタッフ一同が連携し合いより良い環境を整える ・一人ひとりの状況を確認し、発達段階に促した支援計画を作成する ・保護者や利用者の意向を踏まえ、楽しく活動できるプログラムを設定する 		
営業時間	9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
児童発達支援		放課後等デイサービス	
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康 <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが整うように、家庭での様子を確認しながら個人に合わせた支援をしていく ・睡眠、排泄、着脱、食事など基本的な生活習慣の自立に向けて支援していく ・気温によって衣服の調整などが自らできるように支援していく ●生活 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の心身の状態、健康状態などを保護者と連絡を取り合い情報共有をしていく ・その日の予定をイラストや写真などで視覚的に伝えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での生活リズムが整うように連絡を取り合いながら支援していく ・必要に応じて日常生活の援助をしていく ・病名や投薬の種類、量を把握し、利用者の行動を記録していく ・気温によって衣服の調整などが自らできるようになる ●生活 <ul style="list-style-type: none"> ・ボードを使いその日のスケジュールなどの時間や、部屋を利用者にわかりやすく構造化していく ・買い物学習を通してお金の使い方、支払いかたを身に付け生活に必要な技能を習得するように支援していく
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●運動 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達に合わせた手指機能（紐通し、はさみの操作、箸遊び、棒さし、絵画活動、洗濯ばさみ）などに取り組みむことで巧緻性を高めていく ・個々に合わせた運動（巧技台遊び、ボール、バランスボール、縄跳び、トランポリン、公園の遊具）などに取り組み、姿勢保持、体幹の強化を促す ●感覚・色々な活動（粘土、スライム、片栗粉、水遊び、豆遊び、新聞遊び、紙遊び）に取り組み様々な感覚を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール、野球、トランポリン、サーキット、公園の遊具などで上肢、下肢などの筋力強化を図る ・絵画、箱制作などの微細運動を行い手指機能の巧緻性を高めていく ●感覚 <ul style="list-style-type: none"> ・粘土、スライムなどの感触を楽しむ ・個々の状態を把握しながら、音、水、衣服の素材などの過敏さを回避できるように保護者と連携していく
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●認知 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達段階を把握し、発達に沿った教材をスタッフと一緒に楽しみながら取り組み成長発達を促していく ・「できた」達成感を味わう経験を増やしていく ・個別活動に集中して取り組めるように、机の高さ椅子の高さの調整を行ったり、刺激にならない環境設定をする ●行動 <ul style="list-style-type: none"> ・個人の行動観察や記録をつけ、スタッフや保護者と連携していく 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題や当所のプリントに取り組む。個々の得意なところや不得意なところを記録していく。できた時には褒めて自信につながるような成功体験を積み重ねていく ・利用者に合わせた学習教材を用意し、学習を楽しめるように工夫していく ・買い物学習でお金の計算をしたり電卓を使って計算する ●行動 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の行動観察を行い、スタッフで共有しながら危険な時の対応をケース検討していく
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の発語を記録する。どのくらい理解をしているのか、発語の発達段階、要求表現などを観察する ・遊びのなかで発声や単語表出や動作などを促し、他者に伝わった経験を積み重ね言葉につながるように支援していく ・個々の発達に合わせ、写真や絵カードなど視覚的に伝えながらスタッフとコミュニケーションが図れるように支援していく ・通所時や帰りの時の挨拶、おやつ時の挨拶、ごっこ遊びや玩具の貸し借りなど、場面にあった言葉が話せるようにスタッフがモデルとなって伝えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由活動や設定活動など小集団での関わりを大切に、相手の表情を感じたり、言葉の使い方など、コミュニケーションに必要な基礎を学べるように支援していく ・小集団で話し合う機会を設定し、話やすいテーマを考え、他者の話を聞いたり自分の意見を順序立てて伝えることができるように支援する ・他者と話し合うことで、自分と相手との違いに気づいていく ・スタッフと1対1で話すことで、そのままの自分を受け入れてもらい、安心感をもって過ごせるようにしていく
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感を得られるようにスタッフと1対1での関わりを大切に、信頼関係を築けるようにしていく ・ごっこ遊びなど、スタッフが仲介しながら他児との関わりができるように支援していく ・集団活動のなかで順番を守ったり、ルールがあることを知らせていく。年齢によって簡単なルールのある遊びに取り組み、理解を深めたり、勝敗があることなどを伝えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団ゲームに参加し、勝敗や同点があることに気付いていく。チームなどを作り仲間を大切にする経験を増やしていく ・スタッフと一緒に相手の気持ち考えたり、感情のコントロールなどができない時には場所を変えて、自分で気持ちの切り替えができるように支援していく ・自分の行動や言動を振り返ることができるようになる ・社会化見学を体験し、館内の約束事や小集団で行動するためのルールを身に付ける
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回、年齢別の保護者会を開催し、幼稚園、保育園、学校、家庭のことなどを話し合うことで情報交換を行っている ・個別相談を都度行っている ・最近の様子などを送迎時や訪問し話し合いを行っている 	移行支援
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園に見学し支援の共有理解 ・小学校、児童会館との情報共有 ・他事業所との情報交換 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関する研修 ・熱中症、食中毒に関する研修 ・虐待、身体拘束についての研修 ・外部研修会への参加 ・ケース検討の実施
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学（動物園、スケート、青少年科学館、下水道科学館、水族館） ・誕生会・季節の行事 ・さとらんど ・百合が原公園 ・4年生以上夜の活動 		